

私の留学体験記

広島県立竹原高等学校 3年 山根 加奈 (やまね かな)
留学期間 平成 29 年 7 月 29 日～平成 29 年 8 月 12 日 (15 日間)
留学先 (セブ島, フィリピン)

私は 7 月 29 日から 8 月 12 日までの 2 週間、フィリピンのセブ島というところに語学留学してきました。平日の主な日程は、6 時 50 分に起床し、7 時 30 分に朝食をとって、8 時に現地校へ登校して 3 時間の授業を受けます。午後からは語学学校に戻り、昼食をとって、14 時 40 分から 70 分の授業を 2 コマ受け、その後は自由時間でした。

1 日目はほとんどが移動でした。現地についたのが夜だったので、滞在先のウェルツという語学学校の寮で食事をして就寝となりました。留学と一緒にいったメンバーとはその日のうちにすぐに打ちとけることができました。

2 日目は語学学校で英語のレベルチェックテストが行われました。リスニング、スピーキング、ライティングなどの様々なテストを受けました。スピーキングテストでは、単語力がなくて自分の言いたいことが英語にできず、全く話せませんでした。しかし、これを機に英語力をもっとつけたいという意志が強くなりました。午後は買い物に行き、日用品やお菓子などをたくさん買いました。

3 日目からは現地校のサイエンスハイスクールという学校に通いました。初日は歓迎セレモニーがあり、現地校の生徒はとてもフレンドリーですぐに仲良くなりました。平日は毎日、午前中に現地校でダンス、演劇、ウクレレの授業を 1 コマずつ受けました。最後には授業で練習したことを発表しました。午後からは語学学校で英語を使って読んだり話したりする授業を受けました。最終日には、広島についてグループごとに紹介するプレゼンテーションを行うことになっており、私は広島の祭りやイベントについて紹介しました。授業は少人数で行われるため、自分の意思を積極的に伝えることができ、英語力が伸ばせる環境が整っていました。毎日英語で授業を受けるなかで、2 週間で英語がどんどん聞き取れるようになり、単語もたくさん覚えられました。

休日には少し離れた島に行きダイビングをしたり、買い物をしたりしました。また、孤児院を訪問し、子供たちとダンスをしたりご飯を食べたりもしました。

私は今年、受験生で、大事な夏休みの時期に留学して大丈夫だろうかと不安もありましたが、今は留学して本当によかったと思っています。留学が自分自身を成長させてくれたからです。特に、英語力が伸びたと実感しています。また、留学することで視野が広がったと思います。例えば、私はセブ島に行くまでは青い海とリゾートというイメージしか持っておらず、フィリピンの抱える社会問題や人々の暮らしを知りませんでした。しかし実際に現地でストリートチルドレンや孤児院での子ども達の姿を目にし、貧富の差が大きく人々の暮らしも決して豊かではないことが分かりました。この経験を通して、今まで日本以外の国々の諸問題や世界情勢に関心を持っていなかったことを恥ずかしく思い、日本以外の国のことをもっと知る必要があると思うようになりました。今後もさらに留学をして、視野を広げたいと思っています。留学中に現地校の生徒や、語学学校に留学していた他国の留学生、日本から来ていた大学生や高校生など、たくさんの友達ことができました。今でも、SNS を通じてやり取りをしています。留学をきっかけにして世界中に友達ができ、世界が近くなったような気がしています。これからも英語を学び、もっともっと英語を話せるようになりたいと思います。

